



Coca-Cola zero 2008  
**Suzuka 8 hours**

2008 QTEL FIM 世界耐久選手権シリーズ第3戦  
**“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース**  
**第31回大会**

MEDIA INFORMATION 2008.3.28



バイク好きはみんな集まれ!  
バイク乗りが楽しむイベント  
「MOTO MAX」も同時開催

[www.8tai.com](http://www.8tai.com)   
鈴鹿8耐の最新情報はここでチェック!



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





*Coca-Cola zero* 2008  
**Suzuka 8 hours**

**I N D E X**

はじめに.....1  
開催概要 .....2  
RACE TOPICS .....3~5  
SPECIAL TOPICS ..... 6~10  
MOTOMAX..... 11~13  
SPECIAL EVENT..... 14~16  
エリアインフォメーション ..... 17~20  
チケット ..... 21~22  
お問い合わせ ..... 23  
アクセス ..... 24  
8tai.com..... 25



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



## はじめに

### 夏・鈴鹿。 “参加”、“体験”してほしいバイク祭り。

31年目の鈴鹿8耐は全てのバイクの楽しみを“体感”できる場を目指します。

1978年にヨシムラの優勝で幕を開けた8耐は、30年目の昨年、節目の年は再びヨシムラの優勝で幕を閉じました。31年目の今年、そしてこれから鈴鹿8耐は本来持つ“バイクの祭典”としての魅力をさらに追及してまいります。

レースというフィールドで、ワークスとプライベート、あるいは参加者とお客様、それぞれの立場で鈴鹿を訪れるみなさまに、感動と喜びのドラマを生んできた8耐。そこには、現場でなければ伝えきれない、さまざまなドラマがありました。

～その瞬間・その場所にいなければ体感できないコミュニケーションを感じて欲しい～

それは白熱したレースを目撃するだけではありません。  
ツーリングする楽しみ、バイクをチューンアップする楽しみ、バイクをドレスアップする楽しみ、そしてそういった楽しみを共有する同好の友と出会う楽しみ…。  
単なる移動手段ではなく、乗ることそのものが楽しみとなるのがバイクの持つパワー。  
鈴鹿にやってくる旅路の途中さえ楽しめる、バイクにかかわる全ての人が笑顔になる場を鈴鹿8耐は目指します。

## “LOVE BIKE, LOVE LIFE”

部屋にこもっているだけでは絶対感じるできない、人と人が触れ合い、心を交感できるバイクの祭典。見るだけでなく、誰でも“参加”することができる、“参加”してほしい、それがバイクを愛するすべての人のための“祭り”、それが8耐です。

この夏、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐でみなさんにお会いできることを心より願っております。



財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)  
株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





# “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐開催概要

- (1) 大会名称 2008 QTEL FIM 世界耐久選手権シリーズ第3戦  
 “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第31回大会  
 (英文表記) 2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
 The 31st “Coca-Cola Zero” Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
- 併催 2008 鈴鹿・近畿選手権シリーズ第5戦  
 鈴鹿4時間耐久ロードレース(ST600)
- (2) 主催 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)  
 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
- (3) 協力 テレビ朝日・メ〜テレ
- (4) 後援 文部科学省  
 三重県・鈴鹿市・鈴鹿商工会議所・鈴鹿市観光協会
- (5) 大会冠協賛 コカ・コーラ ゼロ
- (6) 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周/5.821km)  
 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL:059-378-1111(代)
- (7) 開催日程 2008年 7月24日(木)~7月27日(日)

7月 24日(木)	特別スポーツ走行/公式練習
25日(金)	公式予選
26日(土)	決勝出場チーム フリー走行
	スペシャル・ステージ「トップ10トライアル」(公式予選) “コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐前夜祭
27日(日)	“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝 11:30スタート/19:30ゴール

### ●鈴鹿4時間耐久ロードレース スケジュール

7月 24日(木)	特別スポーツ走行
25日(金)	公式予選
26日(土)	鈴鹿4時間耐久ロードレース 決勝
	8:30スタート/12:30ゴール

※スケジュールは変更になる場合があります。



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





RACE TOPICS.1

# ヨシムラ復活優勝で、30年の歴史にひとつの ピリオドを打った8耐。 30+1年……新たな『真夏の決戦』が始まる!!

1978年に第1回大会が開催された鈴鹿8時間耐久ロードレースは、以来、『8耐』の愛称で親しまれている。そして、鈴鹿ならではの耐久レースの醍醐味が堪能できるとして、多くのファンの支持を得ているビッグレースの一つである。過去、グレアム・クロスビーやワイン・ガードナーなど、この8耐での活躍で世界へのチケットを手にしたライダーも多い。一方で、ケニー・ロバーツや平忠彦、ウェイン・レイニー、エディ・ローソン、バレンティーノ・ロッシなど、世界のトップライダーの多くが、名声と榮譽をかけて、8耐制覇に乗り込んできた。

国際色豊かな8耐だが、よりファンにとって分かりやすいレースとなるように、車両規則の国際共通化を目指し、今年の世界耐久選手権は一步前進したクラス設定となっている。昨年は、世界耐久選手権で設定されるスーパーバイク(SBK)、スーパープロダクション(SPP)、スーパーストック(SST)の3クラスに、日本独自のJSB(ジャパン・スーパーバイク)を加えた、合計4クラスで開催された8耐だったが、今年の世界耐久選手権ではSBKが廃止となり、SPPをJSBレギュレーションに限りなく近づけた新たなカテゴリー「Formula EWC」が誕生したのだ。

これにより、従来のJSB、SPPは「Formula EWC」に統合され、今年の世界耐久選手権は、「Formula EWC」と「SST」の2カテゴリーでの戦いとなる。SSTは、事実上、海外の一部チームのみのエントリーが予想されるため、実質は

「Formula EWC」クラスに統一されたと言ってもいい。

また、現在は、イギリス・スーパーバイク(BSB)、アメリカ・スーパーバイク(AMA SB)もJSBに近づく方向でマシン・レギュレーションの調整が検討されていることから、各国の国内選手権の車両規則も国際統一化に向けて着実に進んでいる。8耐はこれまで以上に国際色豊かな世界的イベントとして進化・発展の歩みを止めないだろう。

さて、そんな鈴鹿8耐を冠スポンサーとして強力にバックアップしてくれているのが、同じくワールドワイドな知名度を持つコカ・コーラ。1984年の第7回大会から「コカ・コーラ」鈴鹿8耐として開催されており、今年でそのパートナーシップは25年目を迎える。四半世紀におよぶ歴史により、「8耐といえばコカ・コーラ」の印象を持つファンも多いのではないだろうか。

昨年の第30回記念大会では、人気のコカ・コーラ ゼロを大会名に冠して「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8耐としての開催となったのは記憶に新しいところだ。

今年もコカ・コーラ ゼロとともに鈴鹿8耐を楽しんで欲しい。

## 2008年世界耐久選手権シリーズ開催日程

第1戦	4月20日	ル・マン24時間耐久(フランス)
第2戦	5月10日	アルバセテ6時間耐久(スペイン)
第3戦	7月27日	「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8時間耐久(日本)
第4戦	8月9日	オーシャースレーベン24時間耐久(ドイツ)
第5戦	9月14日	ボルドール24時間耐久(フランス)
第6戦	11月8日	ドーハ6時間耐久(カタール)

7月27日(日)午前11時30分。

真夏の鈴鹿で、

再び世界の強豪ライダーたちが覇を競う!!



2007年8耐スタートシーン。  
このコントロールタワー・ピットでのスタートも今年限り。



チェッカー後、恒例の花火に癒される人も多いことだろう。



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR



# Coca-Cola zero 2008 Suzuka 8 hours

## RACE TOPICS.2

### 真夏の鈴鹿サーキットで ライダーとチームの意地とプライドが ぶつかり合う

昨年、ヨシムラスズキwith JOMOの加賀山就臣と秋吉耕佑のペアが、圧倒的な強さで8耐を制したのは記憶に新しい。ヨシムラは、1978年の8耐第1回大会を制したチームとして知られるが、第3回大会でも優勝しており、8耐創世期の立役者だ。

そのヨシムラが、第30回という記念大会で覇権を奪還。節目の年で、まさに歴史が繰り返された瞬間だった。そして昨大会でのヨシムラの優勝は、同時に、Hondaが築いてきた連勝記録にストップをかけるものでもあった。Hondaはこれまで、1997年の第20回大会で、伊藤真一と宇川徹のペアで優勝すると、2006年の辻村猛と伊藤真一ペアでの優勝まで、10連覇という金字塔を打ち立て、常に話題の中心的存在でもあった。

しかし、これまで各チームが掲げていた「打倒Honda」の合言葉は、今年は「打倒ヨシムラスズキ」に変わる。昨年の大会で優勝した加賀山就臣は、記者会見で「8耐で、Hondaはいつも強い存在だった。そして、その強いHondaを倒すために、僕たちもレベルアップすることができた」と語っている。もちろんHondaに対する賛辞である。しかし、これで常勝軍団Hondaの闘志に新たな火が灯ったことも事実であり、今大会には、これまでにない最強布陣をもって臨んでくることは明白。同時に他メーカーの逆襲にも期待が集まっており、30+1年目の今大会は、8耐の代名詞である大波乱レースとなるのは必至の情勢だ。

### 全日本ロードレースに見る 8耐出場ライダーの傾向

4月6日(日)にツインリンクもてぎで開幕戦が行われるMFJ全日本ロードレース選手権シリーズ。そしてこのJSB1000に出場するライダーの多くが、8耐参戦をめざしている。

注目は、昨年の「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8耐を制したヨシムラだ。全日本JSBには、ヨシムラスズキwithデンソーIRIDIUM POWERから酒井大作、ヨシムラスズキwith JOMOから秋吉耕佑が参戦。8耐ではこの二人がチームを組むのか、それともスーパーバイク世界選手権を戦う加賀山就臣が秋吉と組み、昨年の優勝チーム再現となるのか、注目を集めるところ。昨年の全日本JSBチャンピオンで、今年はBSBを戦う渡辺篤も控えており、層の厚さは抜群だ。

一方、覇権奪還をめざすHonda勢では、全日本JSB1000にDREAM Honda Racing Team11から徳留和樹、DREAM Honda Racing Team48から手島雄介が参戦。しかし、徳留がブリヂストン、手島がダンロップを装着しており、この二人がペアを組む可能性は少ないかもしれない。だが、Hondaには、今年からスーパーバイク世界選手権を戦う若きエース清成龍一をはじめ、MotoGPなどライダー層の厚さは群を抜いている。果たしてどのライダーが来日し、どのようなチームが結成されるのか、興味深いところだ。

また、全日本JSBで急成長を遂げる中須賀克行を擁するヤマハ勢は、この中須賀を軸にしたチーム結成が予想される。一昨年の、芳賀紀行やMotoGPクラスからの参戦があるのか、大いに注目される所。

一方、カワサキは今年から全日本JSBにニューモデルを投入。これまで以上に戦闘力が高まったとのことで、カワサキ・ユーザーの動向にも期待が集まる。

さらに、今年から全日本JSBにドゥカティ1098R(1200cc)でフル参戦するパビーズレーシング&ディライトは、すでにライダーの浜口俊之が「ベアラライダーは未定ですが、8耐参戦します」と公言しており、どのようなポテンシャルを見せてくれるか楽しみな存在だ。



27年振りに優勝カップを奪還したヨシムラ。



HRCの見事なピットワーク。コンマ数秒を削る作業が勝敗を左右する。



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568





# Coca-Cola zero 2008 Suzuka 8 hours

## RACE TOPICS.3

### 優勝候補は？ 主力チームの布陣は？ それは“Road to 8hours” 鈴鹿300km耐久で見えてくる!!

8耐の前哨戦として、2004年から始まった“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレース。前身は、全日本ロードレースの一戦として開催された鈴鹿200kmで、レース中に一度のピットストップが必要になるなど戦略性の高いレースとして絶大な人気を誇っていた。そしてこの鈴鹿200kmを、8耐の前哨戦としてさらに進化させたのが“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースであり、全日本選手権では不可能な数々の8耐同様の規則を取り入れたレースとして開催される。

スタートにはル・マン式を採用。ライダーも1チーム2名登録可能、さらにレース途中での給油やタイヤ交換が行われ、マシンレギュレーションも8耐と共通など、“Road to 8hours”の名にふさわしいレースレギュレーションとなっている。

今年で5回目の開催となる“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレース(決勝6月8日)。白熱のレース展開はもちろん見どころの一つだが、8耐を想定した各チームの調整も見逃せない。本番の8耐では無理は禁物だが、鈴鹿300km耐久ロードレースでは、調整を前提に、たとえば正確な燃費を計るためにガス欠ストップを覚悟に連続走行を続けるなど、セオリーを無視した戦いを挑んでくるチームも存在する。そう、全日本選手権では決して見ることのできない予想外の展開が、“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースの魅力の一つでもある。

また、レースウィークには、8耐に参戦するチーム発表会が行われ、第1回目の8耐エントリーリストが公表されるのが恒例となっており、この点でも注目度が高い。8耐を観るなら見逃せないレース。それが“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースなのだ。

7/24-27

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐



7/1-2

鈴鹿8耐公開テストデー

6/7-8

“Road to 8hours”  
鈴鹿300km耐久ロードレース

5/24-25

全日本ロードレース選手権第3戦  
オートボリス

5/10-11

全日本ロードレース選手権第2戦  
筑波

4/5-6

全日本ロードレース選手権第1戦  
もてぎスーパーバイクレース



今年のライダーラインナップが注目されるYAMAHA RACING



2気筒1200ccのプランニューマシン DUCATI1098R。その実力やいかに？



2008 QTEL Endurance FIM World Championship Series Round 3  
The 31st "Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

SUZUKA CIRCUIT  
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan  
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR